

# 平成31年度 瑞穂野北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性を持ち、自ら学び正しい判断力と実践力を身に付けた、健康でたくましく生きる児童を育成する。

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は、児童にとって、安心かつ安全な場所ではないといけない。児童は、その安心感の中で自己の存在感を感得し、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。

また、学校は、学びの面白さを実感できることなくしてはならない。児童は、主体的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気づいていく。

そのために、教職員が、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高めるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### (1) 安心と成長の場となる学校をつくる

- ・ 温かい人間関係の下、児童一人ひとりの良さと可能性が活かされ、行きがい・居がいのある学校作りに努める。

### (2) 成長し続けるための基盤を培う

- ・ 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成のために、分かる授業・知的好奇心を喚起する授業・主体的に学び合う授業づくりに努める。
- ・ 認め・褒め・励ます指導により、自信や自己有用感の向上を図るとともに、道徳教育の充実を図り、困難に負けない強さと他への思いやりの心を育てる。
- ・ 運動を通して体力の向上を図るとともに、心身ともに健康に生活できる習慣の定着及び危機回避能力の育成に努める。

### (3) 未来を生き抜く力を養う

- ・ 社会の一員として生きていく基礎を培うため、英語教育や情報活用能力を育成する教育を充実させる。

### (4) 多様な児童の状況に応じた指導・支援を行う

- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するために、多様な学びの場を提供できるようにするとともに、教職員の指導力の向上を図る。
- ・ 家庭や地域、諸機関と連携し、いじめや不登校対策を強化する。

### (5) 学校のチーム力の向上を図る

- ・ 新たな教育課題に積極的に取り組み自己研鑽に努めるとともに、互いに学び合い、応え合える学校組織を作る。
- ・ 教職員が、心身ともに健康な状態で職務を遂行することができるよう、健康管理に留意するとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

### (6) 地域とともにある学校づくりを推進する

- 体験活動や交流活動を通して地域を愛する心を育てるとともに、社会に参画する意識と協働する態度を育てる。
- ・ 児童の育成について思いを一つにし、家庭・地域と連携しながら、信頼される学校作りに努める。

[瑞穂野地域学校園教育ビジョン] 9年間の連続した学びの中で、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育

#### 4 教育課程編成の方針

|   |
|---|
| <p>(1) 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知・徳・体の調和のとれた発達を目指すため、各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図った編成を行う。</li> <li>・ 地域学校園教育ビジョンである生きる力を育む教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。</li> <li>・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。</li> </ul> <p>(2) 留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。</li> <li>・ 教科横断的な視点を持ち、各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮する。</li> <li>・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。</li> <li>・ 地域学校園児童生徒の課題から、今後育てていきたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。</li> </ul> |
|---|

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

|   |
|---|
| <p>【 学 校 運 営 】</p> <p>業務の内容を見直し、効率化を図ることで、児童とともに過ごす時間を大切にするとともに、教職員が持てる力を有効に発揮し、チームとして動ける学校づくりに努める。また、小規模校の特色や地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある開かれた学校づくりを行う。</p> <p>【 学 習 指 導 】</p> <p>「学習内容が確実に定着する授業」「知的好奇心を喚起する授業」「主体的に学び合う授業」づくりを工夫する。○そのために、児童とともに本時のめあてを設定したり振り返りを行ったりするなど、基本を大切に授業を行う。また、教材・教具を工夫したり、深く考え学び合える学習の場を工夫したりするとともに、授業のポイントを分かりやすくまとめるなどの共通実践を行う。</p> <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <p>自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、困難に負けないたくましい心をもった児童の育成に努める。そのために、教職員がそれぞれの視点から児童のよさを見取り、「認め・褒め・励ます」ことに取り組む。また、学校行事や縦割り班活動及び道徳科の授業等で、課題を克服する充実感や達成感を味わわせたり、粘り強さや自律心を育んだりする学習活動を工夫する。</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】</p> <p>運動に親しみ、自己の運動能力の向上を目指そうとする意欲を育てる。そのために、各種目について自分のめあてをもたせたり、休み時間に技能や体力の向上に取り組める用具を整備し運動を奨励したりする。</p> <p>自分の成長や健康に関心をもち、健康な生活を送ろうとする態度を育てる。そのために、生活習慣や食習慣の改善に関する学習を工夫し、養護教諭・学校栄養士・家庭と連携した取組を推進する。</p> <p>自分たちを取り巻く様々な危険に対する理解を深め、児童の危険予測・危機回避能力の育成に努める。そのために、保健の学習や避難訓練、交通安全についての指導の工夫を行う。</p> |
|---|

#### 6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

| 項目 | 評価項目  | 主な具体的な取組  | 方向性 | 評価  |
|----|---|---|-----|---|
|    | <p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上</p> | <p>①話し合ったり発表したりする場を意図的に設定する。</p> <p>②学年の発達の段階に応じた話し合いや発表の仕方を指導する。</p> | B   | <p>【達成状況】</p> <p>・児童の肯定的回答率は、90.0%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・話し合いや発表の場を意図的に設定し、繰り返し学習することで、定着を図る。また、今後も、学年や発達段階に応じた学習の型や発表の仕方を指導していく。</p> |

|                       |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|
| 目<br>指                | <p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p>            | <p>① 自信や自己有用感の向上を図るとともに、道徳教育の充実を図り、生命及び、人権を尊重する心や、人を思いやる心を育てていく。</p> <p>② 児童会活動や縦割り班清掃等を通して、相手の立場を考えて思いやる心を育てていく。</p>                               | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率 91.5%で、数値指標を上回った。教職員の肯定的回答率 88.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・日常生活の中において、児童の思いやる言動を見つけ称賛していく。<br/>・自他を認める雰囲気づくりに努め、自信や自己有用感の向上を図る。</p>                                 |
| す<br>児<br>童<br>の<br>姿 | <p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「児童は、決まりやマナーを守って生活している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒保護者 85%以上</p>              | <p>① 「瑞北小の一日」をもとに、全職員が同一歩調で指導にあたるとともに、互いのよさを認め合える学級づくりに努める。</p> <p>○② きまりやマナーを守って行動している姿を、児童が相互に認め合う場や教職員が賞賛する機会を数多く設け、意識付けしながら実践意欲を高めていくようにする。</p> | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率 82.2%で、数値指標に至らなかった。保護者の肯定的回答率 96.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・児童の評価が低い傾向にあるため、今後、善い行いに対する称賛を積極的に行っていく。さらに、自分の行いを振り返らせ、正しい行動を考えさせるようにしていく。</p>                        |
|                       | <p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒保護者 85%以上</p>                  | <p>○① 代表委員会が主体となり、中学校と連携を図った「あいさつ運動」を実施し、意識を高める。</p> <p>○② 自ら進んで挨拶することや、時と場にふさわしい言葉遣いについて、家庭での指導の協力を保護者に働きかける。</p>                                  | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率 95.4%で、数値指標を上回った。保護者の肯定的回答率 87.4%で、こちらも数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・児童会を中心に、「校内あいさつ運動」を学期に1回ずつ実施できるように計画を立てる。<br/>・学年だよりや懇談会等で、家庭でのあいさつの大切さについて伝えていく。</p>                |
|                       | <p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「夢や目標に向かって、あきらめずに粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p> | <p>① 各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。</p> <p>② 道徳科の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、実践に繋がられるように促す。</p>         | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率 87.7%、教職員の肯定的回答率 94.4%で、どちらも数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・どちらも数値指標を上回ったが、児童の肯定的回答率がやや低いため、児童が目標をもって取り組む機会を設け、目標の達成に向けて努力している児童を称賛していく。また、集団での目標を設定し、みんなが達成できるようにしていく。</p> |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童は健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上</p>  | <p>① 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるように、学級活動・体育科・学校行事と関連を図った保健指導や日常の指導を行う。</p> <p>② 児童が栄養バランスの取れた望ましい食習慣を身に付けることができるように、栄養士との連携のもと、学校給食や各教科との関連を図った指導を行う。</p> <p>③ 児童が危機を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため、日常における安全指導を充実させるとともに、交通安全教室や避難訓練等を計画的に実施する。</p> | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の肯定的回答は 94.4%であり、指標の 85%を上回った。</li> <li>・歯磨きカード、委員会の発表や呼び掛け、たよりや掲示での情報の提供等により、自らの健康を管理できる力の向上を図った。</li> <li>・予告なしの避難訓練を行うなど、段階的にレベルを上げながら、児童が自ら判断して行動できる力を高めることができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣のチェック表を活用したり、バランスの良い献立を考える活動を定期的に行ったりして、児童の自分で考え・判断する力を高めていく。</li> </ul> |
| <p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上</p>                           | <p>① 道徳科の授業や学校行事等を通して、夢や目標をもつことの良さを実感できるように指導を行う。</p> <p>② 各教科や総合的な学習の時間等を通して、社会との繋がりを感じたり、将来に対する夢や目標をもったりすることの大切さを感じられるよう指導を行う。</p>   | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は 87.7%であり、指標の 85%を上回った。</li> <li>・持久走大会、なわとび大会、体育の各種検定を活用し、児童が目標をもって努力する機会を設けることができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や学級活動などの場でも、自分の目標を立て、それに向かって努力する機会を意図的に設ける。また、定期的に振り返ったり改善したりしながら、達成感を味わえるような工夫をする。</li> </ul>  |
| <p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p> | <p>① 外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>② 外国語活動に関する校内研修やチーム学校として協働して指導を行う。</p>   | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答率は、92.3%、教職員の肯定的回答率は 94.4%で、指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員と専門性を有するスタッフの間でそれぞれの役目を明確にし、能力や強みを生かした連携を図り、チームとして課題に対応し取り組んでいく。</li> <li>・次年度も、引き続き校内研修を進めて、英語でのコミュニケーション能力を高めるために必要な時間の確保に努める。</li> </ul>  |
| <p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「私は、宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上</p>   | <p>① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。</p> <p>② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。</p>   | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答率は、80.0%で、指標を下回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修などで宇都宮市の行事や文化の情報交換をして、情報の収集、理解を高める。</li> <li>・児童に地域や宇都宮の行事・文化などの情報を積極的に発信していく。</li> </ul>   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p>                | <p>① 児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるように、授業において積極的にICT機器を活用する。</p> <p>② 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書活動を推進する。</p> | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率は、93.8%、教職員の肯定的回答率は100%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・読書の時間の確保や、図書便りの発行、季節の行事や儀式、給食などとコラボレーションすることにより、読書への関心を高める。<br/>・校内研修により、児童に適切に指導できるような実践力を身に付ける。<br/>・プログラミング教育に向けて、教職員がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できる能力を身につける。</p> |
| <p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわり的心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童（生徒）は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p>   | <p>① 総合的な学習の時間の時間や各教科の授業等において、地域の方や高齢者と交流する機会を設け、感謝する心や相手を思いやる心を育む。</p> <p>② 道徳科の授業等を通して、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心等を涵養する。</p>               | <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答は88.9%、児童の肯定的回答は91.5%であり、どちらも指標の85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・総合的な学習の時間と併せて「昔遊び」や「繭玉づくり」など、地域の方々と一緒に様々な活動を行いながら、交流を深めていく。</p>  |
| <p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p> | <p>① 社会科、生活科、総合的な学習における環境教育や環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。</p> <p>② 東日本大震災をはじめとした過去の災害の具体的事例から学ぶ教材を工夫し、防災教育を充実する。</p>             | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率は、84.6%、教職員の肯定的回答率は55.6%で、指標を下回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・「持続可能な社会」を築いていくためにはどうしたらいいかを考える機会や場の確保に努める。<br/>・環境教育や安全教育などの関心を高めるように、発達段階に合わせ、児童に情報を発信していく。</p>   |
| <p>B1 児童は進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「休み時間や放課後などに進んで運動している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上</p>                                      | <p>① 体育科や学級活動等の授業を通して、様々な種類の運動の面白さが味わえるよう、指導方法を工夫する。</p> <p>② 児童が使える道具の置き場や借り方を明確にし、環境を整備することで、自主的な運動への参加を促す。</p>                      | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答は77.5%であり、指標の85%を下回った。</p> <p>・休み時間の様子には、学年差が見られた。高学年になると委員会の仕事等が多くなり、他に興味がある活動があったりして、室内で活動する児童も多く見られた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・外で運動遊びをしたいと思えるように、児童が自由に使える道具を見直す。</p>   |

|         |   |  |  |
|---------|---|--|--|
| 目指す学校の姿 | <p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上</p> | <p>○① 特別支援コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人ひとりのニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>○② 特別支援学級の児童はもとより、通常学級においても、必要に応じて個別の支援計画を作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。</p>       | <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答率は 94.4%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・特別支援コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を行い、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行っていく。</p>   |
|         | <p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「先生方はいじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答<br/>⇒児童 90%以上<br/>⇒保護者 85%以上</p>           | <p>○① 学級活動や道徳科、児童会の「いじめゼロ集会」の実施など、教育活動全体を通していじめを許さない指導の徹底に努める。</p> <p>○② 年4回実施する学校生活アンケートや年2回行う教育相談を通して、児童の心の様子を共感し、学校いじめ防止基本方針に基づきながら組織的な対応を行い、早期発見、早期対応、早期解消を図る。</p> | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率 96.2%で、数値指標を上回った。保護者の肯定的回答率 85.0%であった。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・児童集会の様子を、各種たよりや懇談会等で保護者に積極的に発信していく。<br/>・児童へは、引き続き教育活動全体を通して、いじめを許さない指導を徹底するとともに、教育相談を通していじめの早期発見・早期対応に努めていく。</p> |
|         | <p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上</p>            | <p>① 児童の自己肯定感が高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。</p> <p>② 教育相談、学校生活アンケート、Q-U調査の結果を活用し、不適応傾向にある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報の共有を図る。</p>                     | <p>【【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率は 88.5%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・教職員は、児童が安心して学校生活を送れるようにするための雰囲気づくりを行う。<br/>・児童一人一人が活躍できるような場を設け、自己有用感を高める。</p>   |
|         | <p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上</p> | <p>① 外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 児童が、互いの国籍や文化の違い等を認め合い尊重しながら生活できる態度を育てる。</p>   | <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答率は 94.4%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・支援チームを作り、計画を立て、教職員全体で支援に当たる。</p>   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケートの「私は今の学校が好きです。」における肯定的回答<br/>⇒児童 90%以上</p>   | <p>① 個人にめあてをもたせ、目標に向かって主体的に取り組む学級集団づくりに努める。</p> <p>② 児童の願いや思いを生かした学校行事を計画したり、縦割り班による活動の場を設定したりして、児童が意欲的に参加できるようにする。</p>   | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答は 83.8%で、指標を下回った。<br/>【次年度の方針】<br/>・児童中心に行事や活動の企画や準備するなど児童が主体的に活動し、達成感・肯定感を共有できるような活動になるよう工夫していく。そのための時間を行事の内容を精選しながら確保し、児童の思いや願いを生かした活動を充実させる。</p>   |
| <p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケートの「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」における肯定的回答<br/>⇒保護者 90%以上</p> | <p>① 授業のねらいを達成させるために、指導法や教材・教具の工夫に努める。</p> <p>② かがやきルームや学力向上担当者との連携を図り、一人一人に対応した指導に努める。</p> <p>③ 授業を公開したり、たよりなどで積極的に発信したりしていく。</p>  | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・保護者の肯定的回答率は 83.6%で、数値指標よりも下回っている。<br/>【次年度の方針】<br/>・授業の始まりには「ねらい」を明確にし、終末には「ふり返り」の時間を確保することにより、1時間で何が分かったのか、何ができるようになったのか、児童が確認できるような授業を日々実践する。<br/>・日々の担任による授業の他に、習熟度別での学習や、T.T、かがやきルーム、担任＋1名で指導に当たっているチャレンジタイムの様子などを学年だより等でお知らせしたり、ホームページで公開したりするなどして、積極的に発信していく。</p> |
| <p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上</p>                | <p>① 「チーム瑞北」の合言葉のもと、学校の諸課題への対応や、学校行事の準備・運営等に、教職員が相互に助け合いながら一丸となって取り組むよう努める。</p> <p>② 教職員の協働性を高めることに視点を置き、教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、困難を感じる業務について気軽に相談し、助け合える雰囲気を大切にしよう。</p> | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答は 88.9%で、指標の85%を上回った。<br/>【次年度の方針】<br/>・今後も教職員と学校スタッフとが気軽に声をかけ合える雰囲気を大切に、より一層教職員の協調性が高められるよう努める。教職員同士それぞれがコミュニケーションを図る時間、チームで一緒に取り組むのに必要な時間の確保に努め、さらに業務の効率化を推進していく。</p>  |
| <p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上</p>               | <p>① 学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。</p> <p>② 教職員の負担軽減に向け、学校の組織運営の改善や、各種行事等の実施方法の改善を行う。</p> <p>③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。</p>         | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答は 88.9%で、指標の85%を上回った。<br/>【次年度の方針】<br/>・小規模校のため、一人で担当する校務が大変多い。一人で仕事を抱え込まずに済むよう、少人数のグループを作るなどし、チームで仕事に取り組める体制づくりを行う。また、ポータルサイトへのデータを集約を徹底し、誰もが情報を共有することができるようすることで、業務の効率化につなげる。</p>  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」における肯定的回答<br/>⇒5・6年生児童 90%以上</p>  | <p>○① 瑞穂野地域学校園ビジョンに基づき、生きる力を育てる取組を重点として小中一貫教育・地域学校園を推進する。</p> <p>○② 乗り入れ授業、各分科会、6年生の進学先中学校訪問等を、目的を明確にして効果的に実施し、小中間で情報交換を積極的に行う。</p> | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答は 71.7%で、指標を大きく下回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・本地域学校園における教職員が連携した取組は大変充実している。反面児童生徒の交流は、12月までの期間だと2日間のあいさつ運動のみである。中学校と相談しながら、あいさつ運動以外にも、運動会や持久走大会、ふれあい活動でのボランティア活動など、交流活動の計画を検討していく。</p>               |
| <p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答<br/>⇒保護者 85%以上<br/>⇒地域住民 85%以上</p>     | <p>○① 地域の方との交流の機会を各学年に応じて設定し、様々な体験を通して望ましい人間関係の育成を図る。</p> <p>② 校外での体験活動時の安全確保や、授業への支援などへの協力、参画を得て、学校支援ボランティアを積極的に活用していく。</p>        | <p>【達成状況】<br/>・保護者・地域住民の肯定的回答は、それぞれ 95.8%・100%で、どちらも指標の 85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・清掃活動や学習支援、登下校時の安全の見守りなど、引き続き家庭・地域との連携を図っていく。また、今後ますます求められる社会に開かれた教育課程の実現に向けて、保護者や地域住民の意向も伺いながら、PTC(communit)A一丸となって改善に努めていく。</p>  |
| <p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答<br/>⇒保護者 85%以上<br/>⇒地域住民 85%以上</p> | <p>○① 地域の方との交流の機会を各学年に応じて設定し、様々な体験を通して望ましい人間関係の育成を図る。</p> <p>② 校外での体験活動時の安全確保や、授業への支援などへの協力、参画を得て、学校支援ボランティアを積極的に活用していく。</p>        | <p>【達成状況】<br/>・保護者・地域住民の肯定的回答は、それぞれ 95.8%・100%で、どちらも指標の 85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・引き続き、地域の方々や体験活動を通して、地域に根差した学校づくりを進めていく。<br/>・総合的な学習の時間の地域探究学習などにより、地域の理解を深められるようにする。<br/>・児童に地域の様子や地域行事などの情報を積極的に発信していくようにする。</p> |
| <p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答<br/>⇒教職員 85%以上<br/>⇒保護者 85%以上</p>                   | <p>① 毎月、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>② 避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事・地震・竜巻・洪水・不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。</p>                 | <p>【達成状況】<br/>・教職員の肯定的回答は 100%、保護者の肯定的回答は 95.2%であり、どちらも指標の 85%を上回った。</p> <p>・月一回の安全点検、日頃の心掛けから、施設の修繕や物品の整理整頓をすることができた。</p> <p>・大雨の時などには、児童の安全を第一に考えて、下校の対応を行った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・引き続き、安全を第一に考えて、上記活動を継続していく。</p>     |



|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート<br/>「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒教職員 85%以上</p>   | <p>① 児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。</p> <p>② 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書活動を推進する。</p> | <p>【達成状況】<br/>・児童の肯定的回答率は、93.8%、教職員の肯定的回答率は100%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・読書の時間の確保や、図書便りの発行、季節の行事や儀式、給食などとコラボレーションすることにより、読書への関心を高める。<br/>・校内研修により、児童に適切に指導できるような実践力を身に付ける。<br/>・プログラミング教育に向けて、教職員がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できる能力を身に付ける。</p> |
| <p>B2 特別支援の理解を深めるため、積極的に情報を発信している。</p> <p>【数値指数】<br/>全体アンケート「学校は特別支援教育についての情報を、積極的に発信している」<br/>⇒保護者 80%以上</p>  | <p>① 保護者に向けた特別支援教育理解推進啓発資料を作成し、適宜配布する。</p> <p>② 配布した資料を基に、懇談会や個人懇談、学年だより等で複数回程度話題に出し、保護者により一層の理解を深めてもらえるようにする。</p>                    | <p>【達成状況】<br/>・保護者の肯定的回答率は、84.7%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・今後も、定期的に啓発資料を作成し、配布していく。</p>  |
| <p>本校の特色・課題等</p> <p>B3 学校は地域の教育力や縦割り班活動を生かし、豊かな心を育む教育活動の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】<br/>全体アンケート「地域の人材・施設など地域の教育力や縦割り班活動を生かし特色ある学校づくりを進めている」における肯定的回答<br/>⇒児童 85%以上<br/>⇒地域住民 85%以上</p> | <p>○① 地域の方との交流の機会を各学年に応じて設定し、様々な体験を通して望ましい人間関係の育成を図る。</p> <p>② 校外での体験活動時の安全確保や、授業への支援などへの協力、参画を得て、学校支援ボランティアを積極的に活用していく。</p>          | <p>【達成状況】<br/>・児童・地域住民の肯定的回答は、それぞれ87.6%・100%で、どちらも指標の85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・縦割り班活動では、引き続き各学年の発達段階に応じて目標をもたせ、思いやりの心や協調性、高学年のリーダー性を育てていく。<br/>・清掃活動や学習支援、登下校時の安全の見守りなど、引き続き家庭・地域に協力を仰ぎながら連携を図っていく。また、地域の方々との交流や体験活動を通じて、地域に根差した学校づくりを進めていく。</p>     |

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

#### 【教育全体の状況について】

数値指標達成状況からみると、7割強の項目で達成できた。中でも、児童の様子では、A1「積極的な学習」A「健康・安全な生活」A8「英語でのコミュニケーション」、学校の取組では、A14「いじめに関する指導」A24「安全に配慮した環境づくり」B2「特別支援の情報発信」B3「地域の教育力や縦割り班を生かした特色ある学校づくり」などで、各評価対象者から良好な評価が得られた。今後とも、本校・本地域のよさを生かし、協力・連携を深めながら教育活動を実施していきたい。

#### 【評価の改善が見られた項目について】

児童の学習への取組の積極性に関する質問A1については、保護者の肯定的回答率が9.1ポイント上昇している。「家庭学習の手引き」「学習指導の共通理解」等をもとに全職員が同一步調で指導に当たった結果、授業に取組む態度や学習意欲の改善・向上が実感できる状況になってきた。

特別支援教育の情報発信に関する質問B2についても、保護者の肯定的回答率が12ポイント上昇している。昨年度から特別支援教育便りを定期的に保護者へ発行してきたが、便りの内容に目を通していただくことで、特別支援教育の理解啓発につ

ながつたといえる。

小中一貫・地域学校園の取組に関する質問A21について、地域住民の肯定的回答率が10ポイント以上改善しており、地域への情報発信や地域協議会での話題に取り上げてきた成果が表れていると考えられる。

【指標を下回った項目について】

A17「学校の明るさ・活気」については、児童の肯定的回答率が83.8%で指標を下回っている。この項目については、地域住民を除き、教職員・保護者ともに肯定的回答率が減少している。今後児童中心に行事や活動の企画や準備するなど、より一層児童が主体的に活動し、達成感・肯定感を共有できるような活動になるような工夫をしていく。そのための時間を行事の内容を精選しながら確保し、児童の思いや願いを生かした活動を充実させていきたい。

A3「授業や生活のきまりやマナー」については、児童の肯定的回答率が今年度も指標を下回ったが、保護者の肯定的回答率は増えている。今後も善い行いを積極的に称賛し、児童の規律に対する意識を高めていきたい。

A21「小中一貫」については、児童の肯定的回答率が71.3%で指標を大きく下回っている。「児童生徒の交流」という質問文であることもあり、児童には地域学校園全体の取組は見えにくい面もある。直接交流のあるあいさつ運動以外にも中学校と相談しながら、運動会や持久走大会、ふれあい活動でのボランティア活動など、実際に中学生と交流できる活動を計画していきたい。

## 7 学校関係者評価

- ・児童のあいさつは、学校内では良くなっている。校外でも皆仲良く登下校しているが、なかなか自分からあいさつできない。
- ・評価の上がっている項目は、保護者・地域の方々との理解や協力と密接な関係がある。今後とも、本地区の地域性、地域よさ、子どもたちの環境のよさを生かし、協力・連携を深めながら、持続可能な教育活動を実施してほしい。
- ・「学校の明るさ・活気」「児童の休み時間や放課後の運動」については、縦割り班の活動が有効である。縦割り班のなわとび大会の元気いっばいの声が校外まで聞こえてきた。上級生が下級生を励ましながら面倒をよく見るなど、思いやりの心を学べている。
- ・「学校の小中一貫・地域学校園の取組」については、地域の活動に参加しているが、同じ行事に参加している中学生と交流している意識が低い。中学校での評価も低いので、地域学校園全体での取組が必要であろう。
- ・瑞北と言ったら、〇〇という特色を出すよ。以前は、「絵画・自転車・相撲」などがあった。現在は、合唱ということなので、それがもっと意識できたり、アピールできるとよい。
- ・「ICTの授業活用」について、児童・教職員は肯定的評価が高いが、保護者の評価が大変低い。ICTを活用している様子を授業参観等で保護者に見てもらおうと良いのではないか。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○学校教育目標の具現化のためにさまざまな取組を行ってきたが、「目指す児童の姿」、「目指す学校の姿」それぞれの項目全てにおいて、一定の評価は得られたと捉えている。小規模校である本校の特徴や本地域のよさを生かし、より一層保護者や地域との協力・連携を深めながら教育活動を実施していきたい。また、課題として挙げられた「明るさ・活気」「小中一貫・地域学校園の取組」「運動」については、次年度に向け、「教職員」、「保護者」、「地域住民」がその状況をしっかりと共有しながら、以下のような方針で児童の育成に当たっていく。

- ・「明るさ・活気」については、保護者、地域からは肯定的にみられている半面、教職員と児童の評価が低い。全教職員が共通の指導感をもって、より一層児童が主体的に活動し、達成感・肯定感を共有できるような活動になるような工夫をし、児童の考えや取組を積極的に称賛しながら、児童の思いや願いを生かした活動を充実させていきたい。
- ・「学校の小中一貫・地域学校園の取組」については、児童には地域学校園全体の取組は見えにくい面があるので、地域行事に参加する際には、中学生の活動に目を向けさせたり、中学校と相談しながら、運動会や持久走大会、ふれあい活動でのボランティア活動など、より一層交流活動を計画したりしていきたい。
- ・「休み時間や放課後の運動」については、行事に合わせ自主的に運動する児童は見られたが、個人差も大きい。自由に遊べる道具を見直ししながら、遊具の整備に努め、使い方を明確にし、積極的に活用させていきたい。